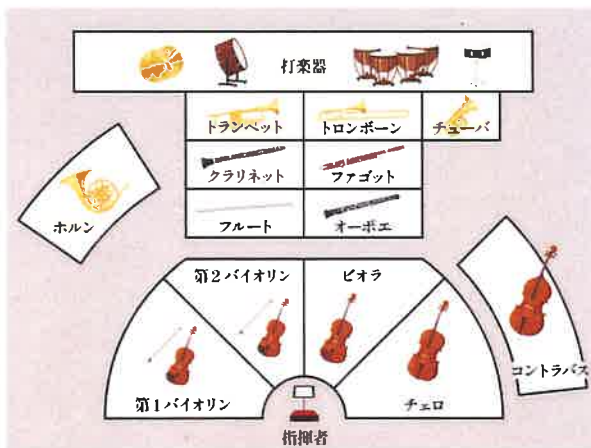




沼津市 市民第九演奏会 より

一人で楽器を演奏するのを「独奏」と言いますが、何人かで演奏する時は「合奏」になります。似た楽器同士では音が溶け合いますが、作りや音の出方が違う楽器が合わさると、独奏では出せない音色・響き・音の厚みが生まれます。



一般的な楽器配置



左から バイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス

### 主なメロディーを奏でることの多い「弦楽器」

多くは、四種類の弦楽器が5つのパートに分かれてアンサンブルを行います。



いずれも摩擦抵抗の大きな繊維(多くは馬のしっぽなど)で出来た弓で弦をこすり、長い音や強弱の変化を可能にしています。

ギターや箏(おこと)が弦をはじいて音を出すのとは根本的に違いますね。

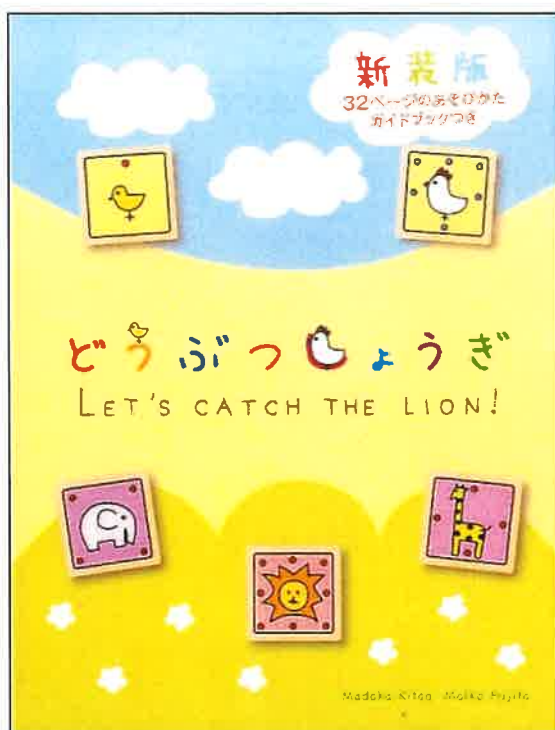


# ボンチチ 15

6月号

「はらっぱ」をご覧のみなさん、こんにちは。  
卒園生の父で川口慶と申します。  
このボンチチでは、書籍やボードゲームの紹介をさせていただいております。  
この連載も15年目になりました。よろしくお願いいたします。

ファミリー向け将棋あそびの決定版！



## 新装版 どうぶつしょうぎ

出版社：小学館 対象：4歳以上  
著者：きたおまどか（作）ふじたまいこ（絵）  
価格：¥2200（税込）

私がこの連載をするきっかけとなったボードゲームです。このボンチチの最初のころに紹介しましたが、今回改めて紹介したいと思います。

「どうぶつしょうぎ」は3×4マスの盤と、8枚のコマで遊ぶミニ将棋です。

ライオン、キリン、ゾウ、ヒヨコのかわいい4種類のコマには、動ける方向に丸印

がついていて、誰でもすぐに遊べます。  
勝ち方は2種類。相手のライオンを取るか、相手の陣地に自分のライオンを移動させ取られなければ勝ちとなります。  
ヒヨコは相手陣地に入ると成ることができニワトリに進化します。  
各コマは1マスずつしか進めませんが、取ったコマは自分のコマとして出せるなど、将棋の基礎を楽しく学ぶことができます。



## 新装版 おおきな森の どうぶつしょうぎ

出版社：小学館

著者：きたおまどか（作）ふじたまいこ（絵）

価格：¥4950（税込）

対象：6歳以上 人数：2人 時間：30分

こちらは「どうぶつしょうぎ」の本格将棋版です。

ルールは将棋と一緒になのでお子さんには少し難しいところがあるかもしれませんが、より簡単な「あおぞらしょうぎ」「ライオンおにごっこ」や「まわりしょうぎ」「つなひきしょうぎ」などのコマ遊びができるので大丈夫。

「どうぶつしょうぎ」からステップアップしていき、本格将棋に挑戦してみてください。この他にもハンディー版の「どこでも どうぶつしょうぎ」もあります。

## 倶楽部 ダンケビツテ

倶楽部ダンケビツテは家族向けのボードゲームサークルです。

今は、コロナ感染症があったため、活動を休止しています。

活動再開を模索中ですが、最近は原地区センターで月一開催されている「みんなの食堂」へボランティアとして参加し、ボードゲームを広げています。

「みんなの食堂」は一般社団法人蓮の森さんが開催している、いわゆる子ども食堂です。どなたでも無料で参加でき、一緒に作り一緒に食べ一緒に遊ぶ会です。

毎月最終日曜日 10:00～ 原地区センターで開催予定です。

今後もこのページで書籍やボードゲームの紹介をしていきます。よろしくお願ひいたします。

「スマホ」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

携帯電話、スマホが登場する前のことをはつきり思い出すのは難しくなった。

スマホにもたらされた利便性には誰も抗えない。



同時に起きた新しい問題やトラブルも数限りない。

生命、財産に関わるような事件も起きているのだから、業界だけではなく、誰もが気を引き締めておかなければならない。



ちよっと昔、出会い系サイトで知り合った男性に、肌がきれいになる薬を勧められて飲んで死亡した女性の事件があった。

振り込め詐欺の話題は登場して久しいが、次々新種の詐欺が現れて、まるで新発売商品のようにだ



新しい道具の持つ危険性には親も社会ももつと慎重でなければならぬ。



中学二年・奈美子の父親は「アッシーやってみすわ」などと、古臭い気楽なことを言っていた。



しかし母親は娘の素行にずいぶん心配そうだった。

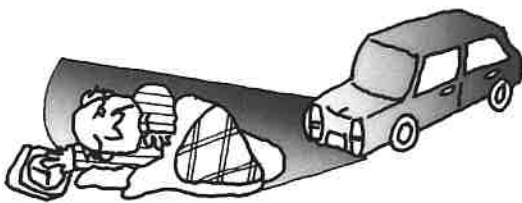


甘い父親が、通学の足代わりに車で送っているのかと思っただ。



ところが話は違った。送って行くのではない、迎えに行くのである。

深夜三時、四時、スマホが鳴ると、とつとに就寝していた父親が起き出して、娘の指示する場所までピックアップに行くのだという。



「なぜ？」と聞くと、

「心配だから」



そして「とにかく外泊はせずに帰って来ている...」



「スマホの電源も切っていないし、居場所確認もできるから...」



「厳しく言って、そんなことは止めさせたら...」と...」

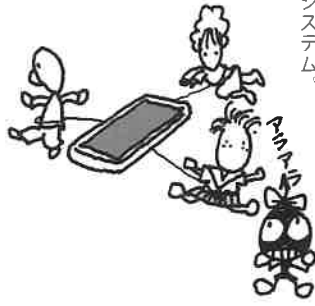


「なら外泊して何があっても知らんからネ!」と凄まじると言う。



その結果の、24時間父親の送迎付き不良娘である。

スマホの普及に引っぱられた一家の奇妙な新システム。



新たな「モノ」の侵入を私たちはなかなか止めることができない。

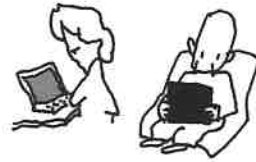
それに影響された生活習慣の変化にも抵抗するのが難しい。



夕飯時のTVは、会話がなくなるから消しましょうとか、週に一日はノーTVデーなんてキャンペーンのあった子ども時代を私は過ごした。



牧歌的だったなあ。



しかし今、家庭に入り込んだコンピュータやゲーム機によって、家でもそれぞれがパーソナルに居る時間が多くなった。

各人が個室を持ち、スマホを持ち、PCを持っている家族も少なくない。



ホームコタツでもあればと思ったが、家中が暖かいから、一カ所に集まる理由もない。



スマホ料金は怪しげなプランを次々登場させて、大人も子どもも餌食だ。

Rocktan	0
docoda	1980
Softbank	2470
alcom	2970
UWEPD	1990

振込みに似てる



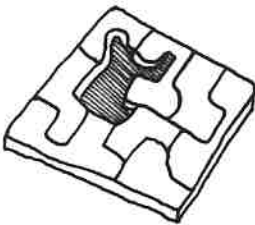
知らないで使ってしまった料金も、契約解除しそびれた課金も、業界は予め利益に見込んでいる。

こんな現実を考えると、対抗手段としては最近採用した習慣の洗い直ししかない。



長年馴染みのものには理由があり、変更するのは苦勞も多い。

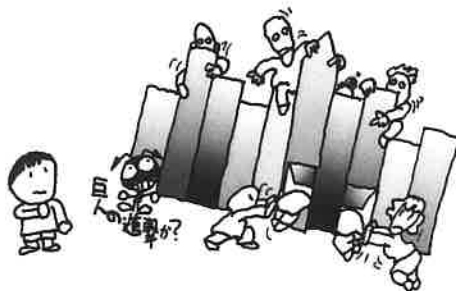
だから新たなものの中から、小さくていいから削除してゆく。



高齢者には理解できないことも多く厄介だ。



しかし何事においてもそうだが、なし崩しの外部からの侵入への対抗手段はこれしかない。



それを子どもたちが学ぶ機会と考えると悪くない。

“木陰の物語” 広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、あなた自身の物語をお寄せください。

「団遊（あそぶ）」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

大学四年生の夏、長男に「話を聞いて欲しい」と言われた。



息子が何かを書いているのを見た記憶がなかった。



思わず、「おまえ、漢字ちゃん」と口走った。



未来が拓けるなどと信じたがっている人が好きではない。



私自身、一年浪人の上、一年留年と大学卒業に六年間もかかった。おまけに就職も決めないで卒業したのだから、今考えるとずいぶんいいかげんな奴だった。



私は常々、やりたいことがあるのに他のことをしている人に幸運が舞い降りることはないと思っている。とくに若者がそんな風になっているのは、チャンスが潰れているように見える。



だから現役で卒業予定の息子に、もう一年間、浪人か留年をされたつもりで授業料分の費用を出してやると言った。



当時、次男も私立大学在学中だったから、公務員一人の給料袋でやりくりするわが家に、決して軽い負担ではなかった。



ただし、それを持って家を出る。そもそもおまえに可能性があるなら、その金の続く間にチャンスを探めと言った。



何かやりたいことがあると言いながら、するすると二〇代を過ぎてしまふ若者が可哀相に思えてならない。



そうさせてしまふ親の方針のなさにも苛立ちがある。



何ごとにも期限があるのは人間に寿命があることを思えば分かることだ。



こうして息子は大学卒業と同時に家を離れ、大阪近郊の都市に小さな部屋を借りて暮らしはじめた。



そして編集の夜間教室に籍を置いた。  
昼間は市立図書館で書き、  
夜にはそれをパソコンに  
入力しながら校正し、  
プリントアウトした  
作品を履歴書と共に  
あちこちに送った。



そんな方法で  
チャンスが掴める  
ものかどうかは  
分からなかった。



食事は極力  
切りつめて  
出費を抑え、  
たまに親元に  
栄養補給に  
戻ってきた。

それでも家賃と最低生活費、  
持ち金はどんどん  
減っていった。

学生時代のよふた  
バイトしたら、



しかし  
アルバイトは  
しなかった。



才能の有無も  
分からない若者が  
生活のために  
多くの時間をアルバイトに  
費やして  
なおチャンスに恵まれる  
かもしれない  
などという考え方を  
信用していない。

目いっぱい集中しても、



もし誰かに  
その片鱗を発見して  
もらえるとしたら、  
ひたすらそれに  
励んでいる姿しか  
なかるうと思っていた。

調理法を色々工夫して  
今週はキャベツで  
一週間過ごした  
などと笑っていた。

そして一日の大半を  
書きたいと思ったことを  
書いて過ごした。



果たして才能が  
あるのかどうかなど  
分からない。



ある時、  
「親に大学まで出して貰って、  
甘いこといってんじや  
ない!」と、なかなか  
うだつの上からない  
同業年長者から批判されて  
落ち込んだ。

弱気になって、  
珍しく泣き言をいつてきた。



「どう持ち金は  
底をついたのか?  
まだある..  
ならばまだ  
チャンスは  
あるだろう」

そんなある日、  
送り続けていた雑誌社の一つから  
電話がかかってきた。  
編集長の気まぐれのようなものだった。



いつも原稿を送ってくる  
おまえさんなあ、  
団遊って  
これ本名か?



はい、父が付けた  
名前です!

それならこの履歴書の  
写真はなんや?  
この名前なら  
ブライクラくらい  
貼ってこんかい!

ホンマに持って  
きよったか!

なんの予定も  
なかったから、  
翌朝直ぐに動けた。  
そして、ここから道が  
開けていくことになった。

いつ何によって道が開けるのかは  
誰にも分からない。  
しかしその扉は、  
強く願って

叩き続けた者に  
先に開くぐらいの公平さは  
持っていると思っている。



“木陰の物語”  
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、  
あなた自身の物語をお寄せください。

みなさんこんにちは。  
 こどものとも社の高林信作と申します。  
 毎月、原町幼稚園さんに、福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。  
 ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思っています。

♪ぼくらのなまえはぐりとぐら このよでいちばんすきなのは  
 おりょうりすることたべること ぐり ぐら ぐり ぐら ♪

今回は人類史から離れて絵本の話をしたと思います

みなさんはぐりとぐらという絵本をご存知ですか？  
 1963年、福音館書店の月刊絵本『こどものとも』に登場した  
 双子の野ねずみのお話です。  
 なんと、ぐりとぐらは今年で61歳になります。  
 累計発行部数は2023年時点で**560万部**を超えており、日本で  
 二番目に売れている絵本です。  
 今なお多くの子どもたちに愛され読み継がれているぐりとぐら  
 今回はその秘密を探ろうとおもいます。



ぐりとぐらと聞いて思い浮かべるものは、ふわふわの大きなカステラではないでしょうか。

作者の中川李枝子さんはインタビューの中で  
 「私は『ちびくろサンボ』の向こうを張ったのよ。『ちびくろサンボ』がホットケーキなら、こっちはもっとおいしいものをごちそうしようと思って。」とおしゃっています。中川さんがお話を作った当時、『ちびくろサンボ』が子どもに大人気だったそうです。



カステラへのこだわりでこんなエピソードがあります。  
 ジブリの宮崎駿さんと中川さんが対談をした時、宮崎さんが「ホットケーキ」と言い間違えたのですが、中川さんがすかさず「カステラです」と指摘しました。

ぐりとぐらには子どもたちを惹きつける要素がいくつかあります。  
 一つはカステラ（食べ物）そして大きな卵（身近にあるもの）あとはリズムカルな文章（心地よさ）特にぐりとぐらの歌は多くの方がメロディーを付けて歌っています。  
 ミッキーマウスマーチのメロディーで歌うとぴったりはまりますよ（ねずみのコラボですね笑）



ちなみに、私は幼い頃、歌よりもカステラよりも、  
 ぐりとぐらが最後に作ったものに夢中だったことを思い出します

ぐりとぐらの作者は中川李枝子さんと山脇百合子さんの姉妹ですがこのお二人はぐりとぐらシリーズの他にも多くの作品を生んでいます。  
 ぐりとぐらの登場人物たちが別の絵本にもでてきます。  
 ぜひ他の作品も楽しんでみてください。



ぞう 『ぐりとぐらのおきゃくさま』



かたつむり エルタとドレミ 『ぐりとぐらのおきゃくさま』



森のおおかみ 『いやいやえん』



やまのこぐ 『いやいやえん』 『ぐりとぐらのおきゃくさま』



# 子育てのアレコレにまつわる つぶやき⑦『気持ちと行動』



京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

はらっぱにも連載されている、「木陰の物語」の著者である団先生のオンライン研修に年4回参加しています。直近では5月に開催され、そこで木陰の物語の「宿題」というお話が題材として提示されました。「宿題」についてはYouTubeにもアップされているので、ぜひご覧ください(<https://www.youtube.com/watch?v=Zp9m0Mwznzo&t=5s>)。ここでは、『宿題』の内容の詳細は省くのですが、今回の内容はこの「宿題」と、5月の研修での経験をベースにしています。

前置きが長くなりましたが、今日のテーマは「気持ちと行動」です。この2つはつながっている部分があって、気持ちが落ち込むと外に出かけようと思えなくなったり、友達と会うのが億劫になったりします。逆に気持ちが前向きな時は、外に出るのも人に会うのも積極的になれるかもしれません。こんな風に、私たちは割と「気持ち⇒行動」という方向で考えていて、心理面のご相談の中でも、まず気持ちを回復させて、そこから行動を変えたい、というニーズをお持ちの方も少なくありません。でも、「気持ちと行動」のつながりはこの一方向だけではなく「行動⇒気持ち」、つまり行動を変えると気持ちも変わる、ということもあるのです。先述の「宿題」は広い意味ではこの点に関連していて、まずは行動を変えることが、関係性や気持ちなどさまざまな変化を引き起こすことにつながっていきます。

昨年度から、大学の授業の中で学生さんに「普段なら絶対しないことをやってみて、その内容と結果を報告してもらおう」というレポート課題を実施しています。「普段ならやらないこと」の内容は学生さん任せなので、いつもと違う道から帰ってみるとか、入ったことがない店に入ってみるとか、親に改めて感謝を伝えるとか、本当にさまざまです。ですが、学生さん一人ひとりが等身大で「いつもとは違うなにか」に取り組み、結果として自分の気持ちや周りとの関係性に小さな変化を引き起こしていました。教員的には嬉しいことに、読むのが楽しみなレポートになっています。この小さな変化を生む力や、自分が変化を生み出せるという確信を、子どもたちが自身の中に培ってほしいなと思います。

気分がオチると

動かない...



動いてみたら

気分も変わる



## 世界に飛び立て(2)



こんにちは。はらっぱを通して子育てを振り返っています。一人娘ですので、次の子育てに生かす機会はありませんが、みなさまの育児に少しでもお役に立てると嬉しいです。

さて、コーチングのプロとして、「可能性を引き出すスキル」を使ってみたものの、なかなかうまくいかなかった娘幼少期編です。

娘との会話を楽しみたくて、娘の話を丁寧に「聞く」つもりでしたが、仕事と育児に追われる毎日です。娘が話すのを制し、「ちょっと待って」「時間ないよ」「急いで」と急かしてしまうことが多々ありました。「人と会話で何より大切なのは聞くこと」仕事では実践できていたし、顧客に対しても当たり前のように伝えていたはずなのに。

段々と娘は私の顔色を見るようになりました。今話していい時間、今はだめな時間。とうとう3歳位の頃には、私の「急いで、早く」攻撃の時に自分の耳に人差し指をすっばりと差し込み、音を遮断してしまう時がありました。

天真爛漫さが最大の長所でもある娘なのに、親に気を遣わせてしまっている事は明らかでした。話しかけてくるボリュームが減り、親の様子を伺う言葉「今いい？」が増えました。一方で、相手を認める「承認」の言葉は沢山娘に贈りました。

「すごいね」「大好きだよ」「ごはん全部食べたね」「ありがとう」「わあ、素敵」など。日々の出来事に対して、肯定的なメッセージをシャワーのように伝えていきました。

聞かれないけど、認めてはもらえる。本来は聞くことと承認することがセットであり、もしあの時もっと聞く事ができていたら、娘の性格や気持ち、肯定感や効力感はまだ違っていただかもしれません。承認シャワーのおかげで、肯定感はそれなりに高い子に育ったようには思います。

子育てをするうえで、良くない事や変えなきゃいけないと思う事は自分自身が一番わかっていたのですが、変えようと思っても、また同じ事を繰り返してしまいました。なぜ変わらないのかを改めて思うと、「子どもに対する甘え」だと思っています。だって、お客様や家族以外の人にはどのような状況においても「誠実に関わる」事はできたからです。

娘に対して愛情はあるものの、当時の私は自分が一番大切であり、娘への誠実さもかけていたように思います。

**「つ」がつく間は何度でも子育てはやりなおしがきくんだよ**

恩師に言われた言葉です。ひとつ、ふたつ・・・このつ、つまり9歳までは何度でも子育ての「うまくいかない」を挽回することができるというものです。

この言葉のおかげで、

**私は何度か自分の子育てを軌道修正しました。**

まずは娘にこれまでの自分の関わりに対して「ごめんね」を伝え、これから変えることと、娘の事が大好きであることを伝えます。これは今現在(娘20歳)でも変わらず、私が修正する時にはこれをセットで伝えます。なんだか気恥ずかしいというか、ばつが悪いような気持ちもありましたが、これを伝える事で気持ちがすっきりと、娘の気持ちと繋がっていくようでした。

今回は、娘とどう向き合うか、娘の人生にどのように寄り添うか迷った「娘の成長期編」をおさらいしてみようと思います。

孫ちゃんす



# From Seed To Cup

花野子の珈琲が出来るまで



## ハンドピック

最高級品質の生豆を仕入れ、  
且つ焙煎の前後2回手作業で欠点  
豆を外します。  
欠点豆の話はまた今度。



## 焙煎

珈琲豆の産地や特徴に  
合わせた焙煎。焙煎時  
の音を大事に、香り高  
く味わい深い珈琲豆に  
焼き上げていきます。



## 抽出

豆の量、お湯の温  
度、挽き方、抽出量  
をいつも一定にし、  
クリアな珈琲をお出  
しします。

自家焙煎珈琲屋 花野子

〒410-0875

沼津市今沢383-1

営業時間 10:00-18:00

電話 055-969-2830

不定休



CAFÉKANOKO

はらっぱをご覧の皆さんこんにちは。自家焙煎珈琲屋花野子の齋藤大地と申します。

園長先生には2001年のオープン当初からお世話になっております。

この度ははらっぱへの投稿のお誘いを頂きましたので

定期的に珈琲や関係の無い話までして行きたいと思います。

先ずは花野子を知って頂くために、オープンまでに至る経緯やオープンしてからの苦悩を  
赤裸々に書いたママさんの日記を数回に分けて投稿しますのでお楽しみ下さい。

少し恥ずかしい…

さて日頃から珈琲を飲む機会が多いとおもいますが、珈琲と言っても缶コーヒーからイン  
スタント、自家焙煎珈琲など様々なものがありますが、花野子はスペシャルティコーヒー  
の自家焙煎珈琲豆を販売しております。缶コーヒーやインスタントと、喫茶店で飲む様な

珈琲は、そもそもカネフォラ種（ロブスタ）とアラビカ種という違いがあります。

ロブスタ種は病気に強く低地栽培が出来る為大量生産に向いてるけど苦味や渋みが強く、  
珈琲らしいコクや香りが控えめ。

アラビカ種は病気に弱く高地栽培な為生産性が弱いけど、

酸味あり花のような甘い香りが楽しめる。

ま、そんな難しい話は置いといて、

皆さんはどの様に自宅で珈琲を淹れてるのでしょうか？

ハンドドリップ/水だし/プレス/ドリップパックなど様々な淹れ方で楽しめるものですが、  
どの淹れ方云々より強くお勧めしたいのが、

豆のまま購入することです。

豆のままと挽いた状態では、酸化スピードが新幹線と根方を走る富士急バスぐらい  
違うので、珈琲を淹れる直前に挽く事を強くお勧めします。

（さらに密閉容器に入れて冷凍保存がパーフェクト）

しかし、分かります。

僕も共働きで小学生2人の父親なので、子供の宿題見たり習い事の送迎があったり、  
お風呂も入れてご飯も作って、、、珈琲を飲みたいけど、そんな時間ない！と。

そんな時にお勧めなのが、子供を珈琲係に任命すること！

お店に来る子供達は、焙煎機やハンドピック、珈琲ミルやドリップの様子など  
皆興味深々。

僕の子供達も、手挽のミルで珈琲を挽いたり、ハンドドリップしたり、  
ちゃんとグラムや淹れ方を教えたら、創造以上に美味しい珈琲を淹れてくれます。

（継続的に淹れてくれる様になる為にはとにかく褒める！アンビリバボと言う）

ぜひ 皆さんもお試し下さい♪



## 花野子が出来るまでの物語 その1

1975年3月16日マスターこと清一は高校時代の同級生かの子と結婚、  
2人の娘と1人の息子、母、祖母、犬のムック、猫のコウジと平凡なごく普通の  
賑やかでささやかな幸せの日々をおくっていた。

スーパーに勤めているサラリーマンの清一は40歳を過ぎた頃から、  
自分の人生を考えはじめた。

「このままで自分の人生はいいのだろうか？」

「何か自分で作り上げたもので人に喜んでもらえる人生はないものだろうか？」

45歳、その頃会社では、早期退職者を募りはじめた。

この頃から、清一は妻に聞こえるように、「会社辞めようかなア～」と  
一人言のように言い始めた。

かの子はようやく子供も大きくなり、これから楽しい人生をおくろうという矢先、  
もし独立して失敗し、50過ぎてから借金をかかえたしたら嫌だ！  
とんでもない！と考えていた。

サラリーマンで平凡であるが、確かな幸せのほうがかの子にとってはよかった。  
でも内心一度言い出したら後へはひかないだろうとも思っていた。  
お前が反対した為、自分の人生がつまらなかったと言われるのも嫌だった。

そして46歳の夏、清一は突然辞表をだした。

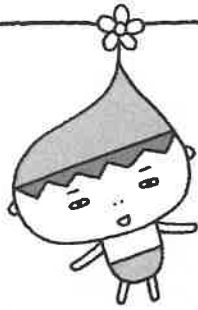
かの子は「エッ～～！？本当？で、これからどうするの？」

清一は「これから考える」の一言。

とうとう先の決まらぬまま退職日を迎え、複雑な気持ちのまま、  
まずは家族で労をねぎらいお祝い？をした。

つづく・・・





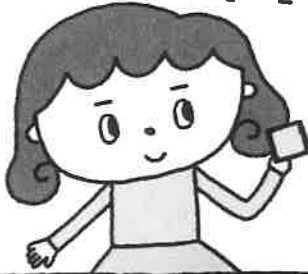
H i k a r u

vol 32

さいになりました。

1

きんきゆうボタンが  
付いている  
GPSを  
ランドセルに  
ぶら下げて  
います。



えーランドセルの  
中に入れてたら  
何かあった時  
すぐ押さねんやん。



2

小学1年生の時

何かあったら  
すぐ押すんやで。

学校  
行きたく  
ないー



3

学校  
がんばる

かーさん  
すぐ助けに  
行くからな。



かわいい♡

4

そしていま。小学3年生

あーもうそれ  
ぶら下げてたら  
じおまやから  
ランドセルの中  
に入れといて。

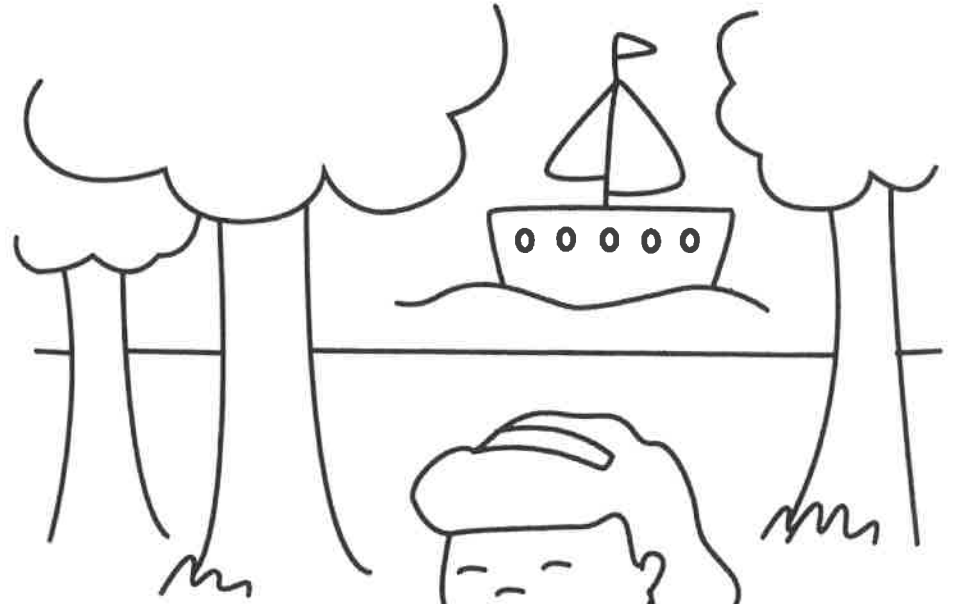


あのさーボタン押したって  
かーさんすぐ来られんやん。  
そんなヒマあったら  
助けてもらえろうな  
大人を探す方が  
ええやろ。

近くに助けてもらえろうな  
大人がおらんかったら  
にげるわ。  
ヒカル走るの速いし。

だいたい  
悪い人が  
大きい男がったら  
どうするん。  
かーさん  
勝てるん。  
ムリやろ。  
まあそれか  
そうやけど。  
ごもっともやけども。





マンガ どうわ  
 なんじゃ  
 もんじゃ はかせ 博士  
 長 新太 ⑱

博士と  
 シウアザラシが  
 あるいて  
 いると  
 こんなに  
 たかい  
 ビルが  
 ありました

本エネエ  
 のほって  
 みようよ

とあくの  
 ほうまで  
 みえるのであった

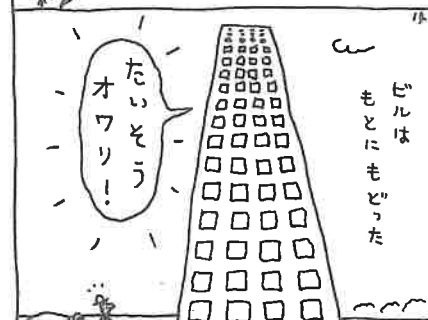
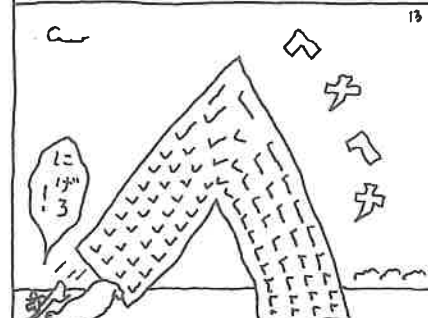
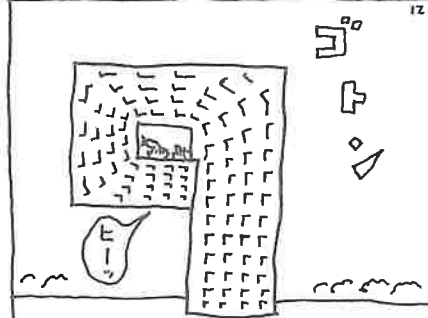
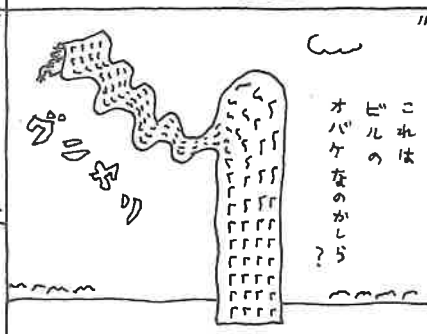
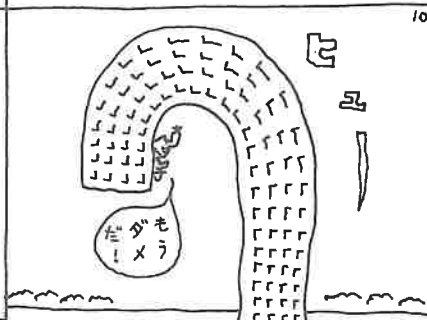
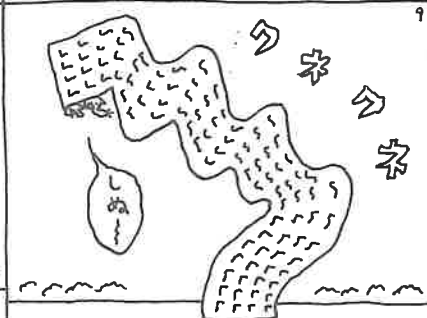
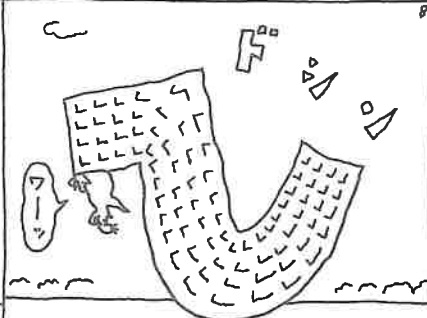
ぎやうに  
 ビルが  
 たあれそうに  
 なった!

めがまわー  
 ー

いったいビルなん  
 なの?

はやく  
 おりよう  
 ー

フーッ  
 だねえ



たかいところのきらいなひとは、このマンガをみると、ふるえてしまうでしょう。ビビッ



# 父の日に寄せて

6月最初の月曜の朝、目が覚めると夢を見たわけでもないのに50年も前のあの事件が頭に浮かんできた。事件といってもたいした事ではなく、いたずら小僧が起こした騒動のことだ。

小6の頃だったか、おそらくクラスで担任に叱られたか何かでムシクシヤしていた自分は、学校の前、国道10号線に面したコンクリートの壁にチョークで「おおわき けしね」と落書きをした。けしね、とは宮崎弁で「死ね」を強調した方言だ。「しね！」だけじゃ物足りないときに「けしね！」と使っていた。（今じゃもう使われていないかもしれないね）

大きさは写真を見て頂ければ分かるが、板チョコのような□に1文字ずつ書いたので30cmといったところか。これが大問題になり「担任の先生の悪口、言うに事欠いて“けしね”とはけしからん！」と校長教頭、学年主任の怒りに触れ、全校集会で前に引っ張り出されて謝らせられただけでなく、その日の午前中の授業を休講して全校生徒を動員して壁掃除が実施された。

昭和40年代後半の九州のド田舎の小学校では、学校の先生の権力というのは強大で、体罰は日常茶飯事であり、教師はこれでもかというぐらい威圧的



で不遜な人たちだった。そんな教師たちに不信感しか持たなかった自分は事あるごとに反発し、いたずら仲間といろいろはみ出しては遊んでいたものだから、この件だけじゃなく、叱られることが多かったのだ。

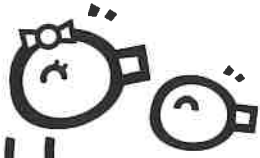
さて、大問題になってしまった落書きだから、当然親は呼び出されて校長室でお説教をくらうこととなった。父は僕が3歳の頃にキリスト教の布教のために、母と3人で京都から赴任してきた牧師で地元にとっては、関係者以外にはよそ者だった。町の小さなキリスト教の教会と付属の幼稚園を切り盛りしており、田舎でキリスト教を布教するのはかなり困難だったと想像するが、当時の自分にはそんなことは全く想像できずのびのび育っていた。

学校のおエライ先生に呼び出されて、息子の悪の所業をとくとくと聞かされイヤミもたっぷり言われたらうに、帰ってきて「学校の壁が掘られて落書きされていると言って呼び出されたのに、書いてあっただけだった」と大げさな学校の姿勢とは裏腹に、至って冷静な物腰で自分と対峙してくれた。

ふだんから、尻をぶっ叩かれたりして叱られていただけに、強烈なげんこつが降ってくると身構えていた僕は拍子抜けしてしまった。やったことは良くないことだったと素直に反省することもできた。

いま思うと、「先生の言うことはゼツタイ！」の風潮の中、孤立してしまいそうな息子にそれ以上の負荷をかけないようにしようという父の配慮があったのではないかと思う。（ハラの中は怒り心頭だったかもしれない(^\_^;)）

行動は間違っていたけどお前のことは大切だよ、信じているよと言うメッセージはしっかり受け取れた。ふだんガミガミと叱られるのは、こんな大きな問題のときに自分を守ってくれるためなんだ、ということも追い追い理解できてきて、自分はいたずらっ子だったけど、グレたりしなかったのだと思う。父の命日は18年前の6月だけど、なぜこのことを思い出したのか分からない、だけど思い出せて良かった。園長 鶴谷主一



# Haramachi

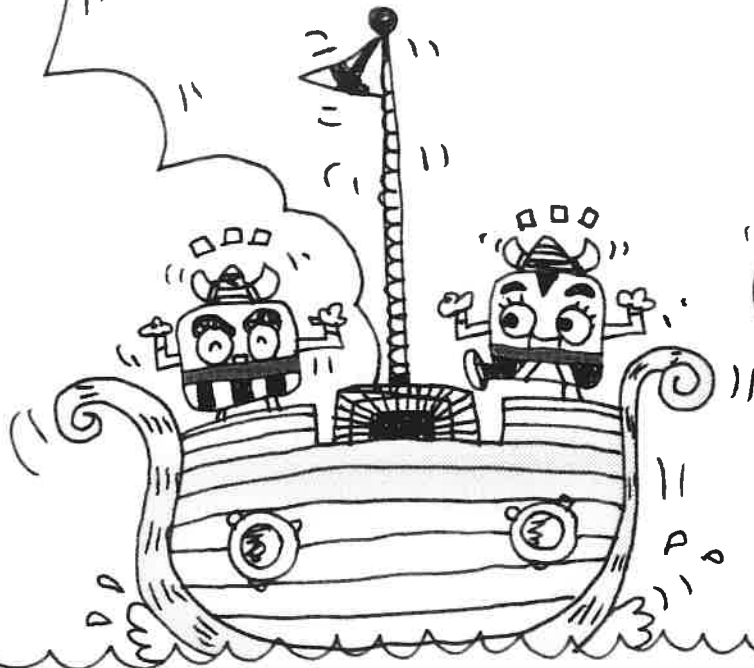
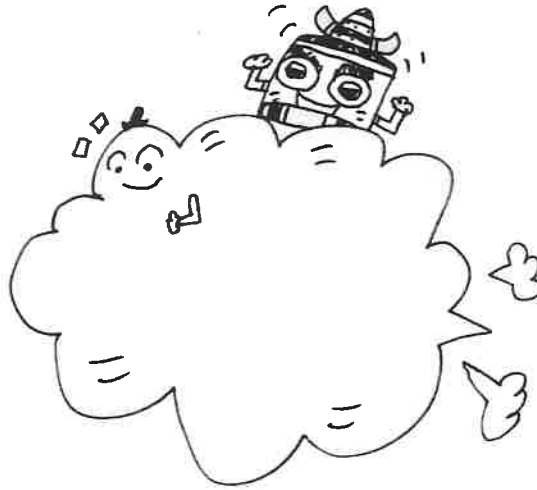
はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1  
phone 055-966-7338 fax966-7370

<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME



# すてきな みずぎを きせてあげましょう

●お家の方へ、『こどものはらっぱ』は、園便り「はらっぱ」のふろくです。お子さんがあれこれ考えたり気軽におしゃべりしながら落書きするためのきっかけで楽しんでください。●親子やきょうだいで一緒にやってもOK、どんな画材を使ってもどんなふうにも描いても、何かを貼っても結構です。イメージを発揮して個性あふれる作品を期待しています!●出来上がったらお子さんに持たせてクラスまでお届け下さい。クラスに貼って「みんなはどんなの描いたかな?」なんて見合っ楽しんであと月末にお返しします。

こどものはらっぱ6月号

くみ/なまえ

